

地域密着型特別養護老人ホーム

愛護苑

広報
第19号

2019.12.26

印刷 あべ印刷株式会社

- 発行 社会福祉法人 愛護会 地域密着型特別養護老人ホーム 愛護苑
- 住所 〒023-0132 岩手県奥州市水沢羽田町字水無沢491-3
- TEL 0197-51-6835 ● FAX 0197-51-6836 ● URL <http://aigokai.jp/>
- 責任者 千葉信男 ● E-mail aigoen@aigokai.jp
- 編集 切金唯希 芳賀英明 石川文枝 佐藤信子 佐藤優太 小野寺美保 及川洋介 小田島千春



干し柿と油絵

部長兼生活相談員 川村 幸子

新年度スタートから早くも八か月が過ぎ、今年のカレンダーもいよいよ残すところ一枚となりました。ユニットリビングの窓からのぞく軒先には、十一月に余暇活動で作った干し柿がつるされ、改めて冬の到来を感じるとともに、真っ白に雪化粧がほどこされた白い焼石連峰に、オレンジ色の干し柿がとても美しく映え、何とも言えない風情を感じます。

利用者さんに季節感や家庭的な雰囲気を感じて頂きたく取り組んだ干し柿作りにおいては、手慣れた包丁さばきで柿の皮をむく利用者さんの姿に、改めて尊敬の念を抱くとともに、人生の大先輩であることを感じる機会となりました。

また最近、当苑の玄関ロビーや廊下、ユニット内に美しい油絵数点を飾りました。これは当苑の看護師である伊藤リ工さんが自ら描き、寄贈して下さった作品です。風景やお花をモチーフにした、とても柔らかいタッチとパステル調の優しい色彩で描かれた油絵によって、建物内の雰囲気も一際明るくなり、利用者さん、職員ともに癒され、心む空間が生まれました。芸術とのふれあいや、昔懐かしい作業等を行うことは、脳の活性化を図るとともに、認知症の予防や改善に効果があると言われております。今後も利用者さんの日常生活に潤いを与える取り組みを行い、利用者さん、職員ともに優しく穏やかな気持ちで過ごせる環境づくりを行っていききたいと思っております。

年が明ければ、来年度に向けた様々な準備も始まりです。タイムカード制の導入を間近に控え、業務改善の取り組みが早急に求められるなか、ご利用される皆さまの声に気づきを得ながら、これからも皆様に安心してご利用頂ける施設運営と、愛護苑のコンセプト「自宅のように安らげる」場所の提供実現をめざして、今後とも職員一丸となり取り組みを進めていきたいと思っております。

もうすぐ年の瀬、迎え来る年も皆様にとって笑顔溢れる一年となりますように。

敬老会



九月十六日、愛護苑で敬老会が行われました。今年は、三名の利用者さんが喜寿を迎えられました。利用者さんのご家族の方々もお見えになり、皆様でお祝いをしました。職員余興ではよさこいを、家子十郎一座様は唄と踊りを、最後には一座の皆様と一緒に職員も花笠音頭を踊り、利用者さんには楽しんでいただけたのではないかと思います。昼食は愛護苑の厨房職員手作りの特別メニューをご家族と一緒にいただきました。これからも、お体に気をつけ、元気にお過ごしください。

小野寺美保・及川 洋介

市内最高齢、おめでとうございます



愛護苑には今年百五歳を迎えられた利用者さんがいらっしゃいます。その利用者さんの百五歳を祝う会を十月十日に行いました。家族の方や奥州市健康福祉部長寿社会課の方々が来苑されました。愛護苑からも記念品を贈り、皆で最高齢のお祝いをし、記念撮影を行いました。ご本人に長生きする秘訣は何ですかと聞くと「毎日一個チョコレートを食べると長生きできるのよ」と話されておりました。

生活介護部長 平野 洋子



園児交流



九月三十日、愛護苑に金ヶ崎保育園の園児たちが来苑しました。園児たちはこの日の為に練習してきた踊りを披露したり、利用者さんたちと手をつないだり肩を叩いたりと直接触れ合い交流されました。また、十月二十九日には愛護苑の利用者さんたちが金ヶ崎保育園を訪問し、園児たちと焼き芋を焼いてお芋パーティーを楽しみました。当日は少し肌寒い陽気でしたが、園児たちの笑顔と温かいお芋のおかげで苑へ帰ってこられた後のみなさんは嬉しそうな表情をみせてくださいました。

このように愛護苑では定期的に園児との交流の機会を設けています。施設で生活する利用者さん方には可愛らしい園児たちの笑顔は最高の刺激になるようです。

切金 唯希・石川 文枝



カラオケ同好会来苑



十月二十九日 愛護苑二階多目的ホールで見分森カラオケ同好会歌謡ショーが開催されました。利用者さんが楽しみにしている行事の一つです。カラオケ同好会の皆さんの歌声に合わせて手を叩いたり、目を閉じて聴き入ったり、マイクを向けられると一緒に歌われる利用者さんもいてとても楽しい時間を過ごされました。今年度第二回目の開催となりましたが、今回も利用者さんたちの素敵な笑顔を見ることができました。

芳賀 英明・佐藤 信子



防災訓練

九月には消火訓練が行われました。未経験の職員が参加し、想像以上に燃える火に動揺しましたが、全員が鎮火することができました。乾燥するこの季節も、火事が起きないよう努めたいです。

十月には水害土砂災害訓練が行われました。二階に素早く利用者を避難させる訓練です。台風や大雨による水害被害の事件が目立つようになったので、もしもの時慌てず動けるようにしたいです。

小田島千春・佐藤 優太



厨房から 愛護苑の食卓

＊かぼちゃお団子＊

かぼちゃには寒い冬を乗り越えるための栄養が豊富に含まれていて、昔から冬至にかぼちゃを食べる習慣があります。今回はかぼちゃを使ったおやつを紹介します。

【材料（2人分）】かぼちゃ…100g
白玉粉 …50g
小豆缶詰…適宜

- 1、かぼちゃは蒸して（茹でて可）つぶす
- 2、つぶしたかぼちゃと白玉粉を混ぜる
（かぼちゃの水分が多いときは生地が耳たぶくらいの固さになるまで白玉粉を混ぜる）
- 3、生地を団子の大きさに丸めて沸騰した鍋で茹でる
（生地が丸まらない時はスプーンで落とす）
- 4、団子が浮いてきたらざるにすくいあげて冷やす
- 5、お皿に盛り付け上から小豆をかける



栄養士 小野寺 彩

医務から 健康トピック

インフルエンザの季節です

インフルエンザの感染経路は主に飛沫感染です。咳やくしゃみの飛沫に含まれているウイルスが喉や気管支粘膜に付着すると約二十分で細胞の中に入り込み、数時間で急激に増殖します。主な症状は三十八度台の熱や関節痛、咳です。予防するには外出後の手洗い、適度な湿度、十分な栄養摂取、インフルエンザワクチンの接種も有効です。苑内でもアルコールや次亜塩素酸ナトリウムでの消毒ワクチン接種など、利用者さんがインフルエンザに罹患することの無いよう、対策を行っています。

看護師 千葉 律子

細胞外への拡散を抑える薬				細胞内での増殖を抑える薬	
リレンザ	イナビル	ラニテクト	タミフル	ゾフルーザ	インフルエンザワクチン注射
2000	2010	2010	2001	2018	
吸入	吸入	点滴	経口	経口	
1日2回5日間	1回	1回	1日2回5日間	1回	

新任職員挨拶



介護職員
菊池 愛大

九月より介護職員として働かせて頂いております。菊池愛大です。介護の業務に関しましては経験不足ではありますが、入居されている方々の為に、経験を積み重ねお役に立てるように努めて参ります。何卒宜しくお願い致します。



介護職員
千田進太郎

十一月より愛護苑でお世話になる事になりました。介護の仕事は初めてではありますが利用者さんの気持ちに寄り添って行けるよう心掛けて、経験を積んで信頼できる職員を目指して行きたいと思っておりますので何卒宜しくお願い致します。

編集後記

第十九号広報誌、無事発行することができました。利用者の皆様の表情に注目しご覧いただければと思います。冬も深まり、これから数ヶ月厳しい寒さが続くことと思いますが、利用者の皆様、ご家族の皆様、この広報誌をご覧いただいている皆様、体調にお気をつけてお過ごしください。